

大田原市議会議長

新年あいさつ



副議長 印南 好男



議長 印南 久雄

新年あけましておめでとうござい  
ます。

昨年十二月定例会におきまして第  
三十九代大田原市議会議長に就任  
いたしました印南久雄でございます。

二〇一〇年の年頭にあたり、一言  
ご挨拶を申し上げます。

市民の皆様には、希望に満ちた輝  
かしい新春を迎えられましたこと、  
心からお慶び申し上げます。また、  
日頃より市政発展のため多大なるご  
支援とご協力をいただき、心から厚  
く御礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、一月にバ  
ラク・オバマ氏が黒人初のアメリカ  
合衆国大統領に就任し、我が国では  
八月の総選挙において、与野党が逆  
転して、自公連立政権から民主党を  
中心とした政権となりました。日米  
における政権交代により、これまで  
以上に「改革」への取り組みが加速  
され、市町村の行政はもとより、皆  
様の仕事や生活にどのような影響が  
出てくるのかを議会としても注目し  
ていきます。

また、新型インフルエンザが猛威  
をふるい、社会生活がその影響を受  
けた年でもありました。

そのような中、昨年大田原市にお  
きましては、着実な社会資本整備が  
進められ、奥沢地内の国道バイパス、  
黒羽地区の木佐美南方トンネル、高

岩大橋が開通となり、また、お笑い  
健康づくり事業の取り組みなど明る  
い話題も数多くございました。

さらに今春には黒羽地区の四中学  
校並びに湯津上地区の二保育園と幼  
稚園がそれぞれ統合し、新たな「黒  
羽中学校」と「ゆづかみ保育園」が開  
校・開園を迎えます。「両郷コミュ  
ニティセンター」も地域における複  
合施設としての役割をもってオーブ  
ンいたします。

しかし、景気の底上げを図るため  
の定額給付金の交付や「エコ」に関  
連した制度など過去に例を見ない経  
済対策が実施されてまいりましたが、  
我が国を取り巻く環境は依然として  
厳しいものに違いありません。

市議会といたしましては、昨年九  
月定例会において、政務調査費の廃  
止や議員報酬の削減を継続していく  
など、財政が厳しい中で経費の縮減  
に自ら取り組んできたところであり  
ます。我々議員は、これからもより  
一層、開かれた議会を目指し、一丸  
となって、市民の皆様とともに「幸  
せ度の高いまち」の実現に向け、最  
善を尽す覚悟でございます。

市民の皆様には、尚一層ご支援と  
ご鞭撻を賜りますようお願い申し上  
げますとともに、今年一年間の皆様  
のご健康とご多幸をお祈りいたしま  
して年頭のご挨拶といたします。